

## 史跡小牧山主郭地区の整備状況について

## 【令和 7 年度】

- ・ 小牧山山頂（小牧山歴史館南東側）において織田信長が築いた 2 段の石垣復元を主とした史跡整備を行いました。  
（整備面積約 768 m<sup>2</sup>）
- ・ 小牧山の主郭に至る織田信長が築いた大手の登城路において、登城路の構造や道幅などを明らかにするため、史跡小牧山大手道発掘調査を実施しました。（調査面積 413 m<sup>2</sup>）
- ・ 発掘調査では、大手の登城路の東脇に石垣によって造り出された平坦な空間や、大手登城路沿いの壁面は、上半は石垣、その下が土と岩盤を人工的に切り立てている構造をしていることがわかりました。また、一部の調査区では、現在の道から約 1.5m 下に永禄期の両端に石積が築かれている登城路を確認しました。
- ・ 山頂を訪れた来訪者が、小牧山城の価値や魅力についてより深く理解できるよう、QRコードを用いたCGビューアー解説板を現地に設置し、小牧山城の再現CG動画を見られるようにしました。
- ・ 史跡小牧山主郭地区のうち、令和 3 年度から進めてきた小牧山歴史館周囲の石垣復元などの史跡整備については、令和 7 年度の整備により完成する見込みです。